

2010年度

# 環境活動レポート

(2010年12月1日～2011年3月31日)



発行日：2011年5月20日

**株式会社 齋藤板金工業所**

〒997-0012 山形県鶴岡市道形字二ツ屋64-1

TEL 0235-24-5112 FAX 0235-24-5984

# 環 境 方 針

## 《基本理念》

当社は、庄内平野の美しい自然環境の中で、「金属のフロンティア」を企業理念とし精密板金業および建築板金業を営んでおりますが、企業としての活動が地域や環境へ与える影響に配慮し従業員全員参加のもと、すべての事業活動を通じて、環境保全および環境負荷軽減の実現に取り組みます。

## 《行動指針》

1. すべての事業活動において、環境に与える影響を的確にとらえ、目的、目標を定め、環境保全活動を継続的に推進します。
2. 環境関連法規を遵守するにとどまらず、技術的、経済的に可能な限り環境保全活動を推進します。
3. 地球環境に与える影響の中から、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進します。
  - a) 地球温暖化防止のための省エネルギーの推進
  - b) 資源有効利用のための廃棄物発生量の削減
  - c) グリーン購入の推進
4. 環境方針は、すべての従業員、および当社に関わる人々に周知され、環境保全活動推進への意識を高め、よき地域住民として地域社会に貢献します。

制定 2006年3月9日

改定 2008年4月1日

改定 2010年11月1日

株式会社斎藤板金工業所

代表取締役 佐藤 友信

## 2. 組織の概要

### 2-1. 事業所名及び代表者名

- 株式会社 斎藤板金工業所
- 代表取締役社長 佐藤友信

### 2-2. 事業の概要

- 精密板金加工部門: 精密板金加工、製缶加工、レーザー加工、SUS・アルミ溶接加工
- 建築板金加工部門: 一般建築物、内外装建築板金工事、特殊屋根葺工事

### 2-3. 所在地と連絡先(担当者)

- 住所 : 山形県鶴岡市道形字二ツ屋64番1号  
連絡先: TEL 0235-24-5112  
FAX 0235-24-5984  
Email info@s-bankin.sakura.ne.jp
- 担当者 : 環境管理責任者 山口栄一

### 2-4. 事業の規模

- 創業 : 昭和12年12月
- 資本金 : 2500万円
- 売上高と従業員

事業年度	2008年 (2008. 4~2009. 3)	2009年 (2009. 4~2010. 3)	2010年 (2010. 4~2011. 3)
売上金額(百万円)	729	696	692
従業員数(人)	64	63	63

注) 従業員数は、毎年の3月31日現在の在籍者数とし、臨時社員は含みません

## 3. 対象範囲と対象取組期間

### 3-1. 認証・登録範囲

- 精密板金加工業務及び建築板金加工業務

### 3-2. 環境活動レポートの対象取組期間

- 2010年12月1日~2011年3月31日

\* 今回のレポートは、認証登録のためにまとめたものです。次回以降は、当社の会計年度(4月~3月)に合わせ、毎年5月に発行していきます。

## 4. 環境目標

### 4-1. 環境目標項目の選定

「環境負荷の自己チェック」と「環境への取組の自己チェック」、ならびに「環境方針」との整合性を図り、次の6項目および山形エコアクション21について、環境目標を設定しました。

- |                   |                    |         |
|-------------------|--------------------|---------|
| 1) 二酸化炭素排出量       | 2) 廃棄物排出量          | 3) 総排水量 |
| 4) 化学物質使用量        | 5) グリーン購入の推進       |         |
| 6) 製品・サービスの環境負荷削減 | 7) 山形エコアクション21対応目標 |         |

### 4-2. 主な環境負荷の実績

2009年度(2009年4月～2010年3月)の当社における主な環境負荷の実績は下表に示すとおりです。

二酸化炭素排出量(Kg-CO2)			廃棄物排出量(t)		総排水量(m <sup>3</sup> ) (水使用量)
電力(係数:0.469)	灯油・LPG	ガソリン・軽油	一般廃棄物	産業廃棄物	
236,447	39,586	59,779	6.6	296.8	976

\* 電力の二酸化炭素換算係数は、平成20年度の東北電力の係数を使用しました。

### 4-3. 環境目標(短期・中長期)の設定

4-1で選定した7項目について、単年度目標ならびに中長期目標を次ページのように設定しました。

### 4-4. 2010年度(取組対象期間)環境目標値

4-3. で設定した目標に従い、2009年度実績値を基に、2010年度(2010.12～2011.3)の具体的な目標値を次ページのように設定しました。

# 《株式会社 斎藤板金工業所 2010年度環境目標》

■ 制定日: 2010年11月10日

■ 取組期間: 2010年12月～2011年3月

■ 改訂日:

代表者	環境管理責任者
社長	山口

当社は、2010年12月から、以下の目標を掲げて、エコアクション21に取り組んでいきます。本年度(2010年度)は、4ヶ月間の暫定的な取組となりますが、2011年度(4月～)からは、その実績をもとに、新たな目標を設定して本格的な取組を開始します。

## ■ 環境目標の設定の考え方

環境目標項目	単年度目標	中期目標(3年)
	2010年度目標 (H22.12～H23.03)	2010年度～2013年度(3年)
二酸化炭素排出量	昨年度同期比(注) <b>5%</b> 削減	2013年度目標: 基準年度実績対比 <b>10%</b> 削減(売上高対比) 基準年度(2009年)実績: 361t・売上高695百万円
廃棄物 排出量	一般廃棄物 昨年度同期比 <b>5%</b> 削減	2013年度目標: 基準年度実績対比 <b>5%</b> 削減 <b>6,232kg</b> 基準年度実績: 6,560kg
	産業廃棄物 昨年度同期比(注) <b>5%</b> 削減	2013年度目標: 基準年度実績対比 <b>10%</b> 削減(売上高対比) 基準年度(2009年)実績: 297t・売上高695百万円
総排水量 (水使用量)	昨年度同期比(注) <b>5%</b> 削減	2013年度目標: 基準年度実績対比 <b>5%</b> 削減(売上高対比) 基準年度(2009年)実績: 976㎡・売上高695百万円
化学物質使用量	使用量の把握 適正使用基準の作成	2011年度まで: 適正使用基準の定着を目指す
グリーン購入の推進	グリーン購入状況の把握	2013年度まで: 事務用品のグリーン購入 <b>100%</b> を目指す
製品・サービスの環境負荷削減に関する目標	「太陽光発電システム設置工事」の 推進計画策定	2013年度まで: 「太陽光発電システム設置工事」 <b>3件</b> の受注を目指す
山形エコアクション21 対応目標	環境保全活動の支援システムとして、 ボランティア休暇制度の導入を検討	2011年度まで: 環境保全のための支援システムの導入を目指す

(注)実績の把握にあたって、売上高の推移を加味し判定する項目

## ■ 本年度環境目標値

環境目標項目	昨年度(H21.12～H22.03)実績	取組期間(H22.12～H23.03) 目標値
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	排出量 134,252kg-CO2 売上高 210百万円	<b>排出量 127,539kg-CO2</b> <b>(5% 削減)</b>
一般廃棄物排出量 (kg)	排出量 3,510kg	<b>3,335kg</b> <b>(5% 削減)</b>
産業廃棄物排出量 (kg)	排出量 96,081kg 売上高 210百万円	<b>排出量 91,277kg</b> <b>(5% 削減)</b>
総排水量 (㎡)	排水量 326㎡ 売上高 210百万円	<b>排出量 310㎡</b> <b>(5% 削減)</b>
化学物質の削減	データなし	使用量を把握し、来年度から 目標展開する
グリーン購入の推進	データなし	グリーン購入比率を把握し、 来年度から目標展開する
製品・サービスの環境負荷削減 に関する目標	受注実績なし	「太陽光発電システム設置工事」の 推進計画策定
山形エコアクション21対応目標	取組みなし	ボランティア休暇制度の導入を検討 (H23.4.1付けにて制定の計画)

## 5. 主な環境活動計画

### 5-1. 二酸化炭素排出量の削減

#### 1) 電力使用量の削減

- 工場の照明用水銀灯を減らし、手元灯にかえる
- 照明器具を省エネタイプに交換する
- コンプレッサーやエアコンのフィルター清掃を定期的実施する
- 使用していない電気の消灯を徹底する

#### 2) 灯油使用量の削減

- 事務室の室温を、暖房期20℃に設定する

#### 3) ガソリン・軽油使用量の削減

- エコドライブを推進する
- 車両整備を徹底し、ムダな燃料消費を抑える



### 5-2. 廃棄物排出量の削減

#### 1) 可燃ゴミの削減

- 電子メディア利用によるペーパーレス化を進める
- 資料・カタログ類は、リサイクル業者へ持ち込む

#### 2) 金属くづの削減

- 生産効率を高め、端材を削減する
- 在庫管理を徹底し、不良在庫の発生を抑える

### 5-3. 総排水量の削減

#### 1) 事業用水の削減

- 作業工程を見直し、洗浄作業を少なくする

#### 2) 生活用水の削減

- 定期的に節水を呼びかける

### 5-4. 化学物質の使用量削減

#### 1) 使用量の削減

- 作業工程を見直し、使用量を少なくする
- 使用量を計測する

#### 2) 適正使用基準定着

- 適正使用基準を策定する
- 記録を徹底する

## 5-5. グリーン購入の推進

### 1) グリーン購入状況の把握

- 事務用品購入時、エコ商品か否かを記録し、調達率を把握する

### 2) グリーン調達率の向上

- 事務用品購入時は、エコ商品を優先的に購入する

## 5-6. 製品・サービスの環境負荷削減

### 1) 太陽光発電システムの推進

- 「太陽光発電システム設置工事」の推進計画を策定する
- マスメディアを利用し、営業活動を行なう

## 5-7. 山形エコアクション21対応目標

### 1) 環境保全支援システムの導入

- 保全活動に参加する際の、休暇制度を導入する
- 地域の保全活動へ、積極的に参加する

## 6. 環境目標の実績 (2010. 12~2011. 3)

対象取組期間(4ヶ月)における環境目標の達成状況は下記のとおりでした。  
 なお、目標値に「\*売上高対比」の記載があるものは、目標値の算出にあたり、前年度と今年度の売上高の増減を加味して目標を設定した項目です。

### 6-1. 二酸化炭素排出量

#### 1) 全体 (目標: 昨年度同期比5%削減 \* 売上高対比)

単位: Kg-CO2

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
360, 952	113, 667	129, 980	▲16, 313	▲14. 4%	×

#### 【コメント】

二酸化炭素の総排出量は、目標比16, 313Kg-CO2、率にして14. 4%の増加となり、目標を達成することができませんでした。これは、購入電力及び灯油の大幅超過が主な原因となっています。

#### 2) 電力使用量 (目標: 昨年度同期比5%削減 \* 売上高対比)

単位: Kg-CO2

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
236, 447	69, 319	79, 272	▲9, 953	▲14. 4%	×

#### 【コメント】

目標比9, 953Kg-CO2、率にして14. 4%の増加となり、目標を達成することができませんでした。これは、1月に新工場が完成したことと機械設備が1台増設稼動したこと、及び2月に大量の受注があり夜間作業が増えたことが原因と思われる。

#### 3) 灯油・LPG使用量 (目標: 昨年度同期比5%削減 \* 売上高対比)

単位: Kg-CO2

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
39, 586	29, 421	34, 271	▲4, 850	▲16. 5%	×

#### 【コメント】

LPGは給湯で使用しておりますが、使用量は37Kg-CO2と僅かながら目標を達成いたしました。一方、灯油の使用量は34, 234Kg-CO2と、目標を4, 853Kg-CO2、率にして16. 5%超過しました。これは、工場・事務所の全ての暖房で灯油を使用しており、今年は昨年と比べ気温の低い日が多かったことと、前述のとおり同時期に夜間作業が増えたことが原因と思われる。

#### 4) ガソリン・軽油使用量 (目標: 昨年度同期比5%削減 \* 売上高対比)

単位: Kg-CO2

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
59, 779	14, 927	16, 437	▲1, 510	▲10. 1%	×

#### 【コメント】

目標比1, 510Kg-CO2、率にして10. 1%の増加となり、目標を達成することができませんでした。内訳をみると、軽油は1, 194Kg-CO2の削減、ガソリンが2, 704Kg-CO2の増加となりました。これは、軽油はフォークリフトでの使用だけですので雪の影響で運転回数が減ったこと、反面、ガソリンは、雪の影響で運送にかかる燃料の使用量が増加したことが原因と思われる。

## 6-2. 廃棄物排出量

### 1) 一般廃棄物 (目標: 昨年度同期比5%削減)

単位: Kg

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
6,560	3,335	1,690	1,645	49.3%	◎

#### 【コメント】

目標比1,645Kg、率にして49.3%の削減となり、目標を大幅に達成しました。内訳をみると、可燃ゴミが1,470Kg削減されておりますが、これは、昨年の同時期に事務所のクリーン作戦を行った為、排出量が一時的に増加していた為と思われます。

### 2) 産業廃棄物 (目標: 昨年度同期比5%削減 \* 売上高対比)

単位: Kg

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
296,834	96,081	74,911	21,170	22.0%	◎

#### 【コメント】

目標比21,170Kg、率にして22.0%の削減となり、目標を達成しました。内訳をみると、金属くづが21,600Kgと大幅に減少しておりますが、これは、今年は雪が多く廃材(金属くづ)の処分が雪解けまで遅れた為と思われます。

## 6-3. 総排水量 (目標: 昨年度同期比5%削減 \* 売上高対比)

単位: m<sup>3</sup>

2009年度実績 (2009. 4~2010. 3)	2010年度目標 (2009. 12~2010. 3)	2010年度実績 (2010. 12~2011. 3)	削減量(注1)	削減率	評価(注2)
976	300	298	2	0.1%	◎

#### 【コメント】

目標比2m<sup>3</sup>、率にして0.1%の削減となり、僅かながら目標を達成しました。これは、当社は、地下水を使用していませんので水道の使用量と等しくなりますが、工場の増築工事に伴い、手袋など従来工場内で洗濯していたものを一時的に外部処理した為と思われます。

## 6-4. 化学物質使用量 (目標: 使用量の把握、適正使用基準の作成)

当社で使用している化学物質は、「銅板」や「SUS」及び「ステンレス」等の洗浄と、「SUS316(銅板)」の判別に使われていましたが、取扱量が少ない為これまで使用量の把握等は行なってきませんでした。エコアクションに取組むにあたり、当初短期・中期の目標は定めたものの、全廃を目指した為使用量の把握等は行いませんでした。しかしながら、結果的には若干の使用は残ることとなりましたので、来年度から使用量の把握及び適正使用基準の作成に取組みたいと思います。

## 6-5. グリーン購入の推進 (目標: グリーン購入状況の把握)

これまで、グリーン購入にかかる実績の把握は行っていなかった為、購入比率の把握から取組みました。その中で、工場や建築現場で使用する資材等については、発注者の指定によるものが多いため、この取組の対象外とし、事務用品類について取組対象としました。その結果、期間中の購入割合は、84.9%に高率であることが判りました。これは、社会的にエコ商品の開発・普及が進んでいることと、購入担当者の意識の高さの表れと思われます。

## 6-6. 製品・サービスの環境負荷削減

(目標:「太陽光発電システム設置工事」の推進計画策定)

当社で営業をしている環境負荷削減の為の製品・サービスには「太陽光発電システム設置工事」がありますが、国の施策により工事単価が引き下げられ、収益的には厳しいものとなっています。この為、今期は資材購入業者から情報を収集し、採算面の検討を行なっています。

## 6-7. 山形エコアクション21対応目標 (目標:ボランティア休暇制度の導入検討)

社員に、地域環境保全活動への積極的な参加を促す為、「ボランティア休暇制度」を導入することに検討しました。

制度は、平成23年4月1日施行とし、「運営基準」を制定し周知しています。

(注1)・・・削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す

(注2)・・・評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、  
×→昨年度より増加



太陽光発電パネル 設置工事

## 7. 環境活動計画の取組結果の評価ならびに次年度の取組内容

対象取組期間(4ヶ月)における環境目標の達成状況は下記のとおりでした。

### 7-1. 環境活動計画の取組状況の評価

◎・・・良くできた、○・・・まあまあできた、△・・・やや不十分、×・・・不十分、－・・・評価せず

取組項目	具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	■工場の照明用水銀灯を減らし、手元灯にかえる	－
	■照明器具を省エネタイプに交換する	△
	■コンプレッサーやエアコンのフィルター清掃を定期的実施する	－
	■使用していない電気の消灯を徹底する	△
	■灯油使用量の削減	○
ガソリン・軽油使用量の削減	■エコドライブを推進する	△
	■車両整備を徹底し、ムダな燃料消費を抑える	○
廃棄物の削減	■電子メディア利用によるペーパーレス化を進める	△
	■資料・カタログ類は、リサイクル業者へ持ち込む	○
金属くづの削減	■生産効率を高め、端材を削減する	×
	■在庫管理を徹底し、不良在庫の発生を抑える	×
排水量の削減	■作業工程を見直し、洗浄作業を少なくする	×
	■定期的に節水を呼びかける	×
化学物質の使用量削減	■作業工程を見直し、使用量を少なくする	△
	■使用量を計測する	－
	■適正使用基準を策定する	△
	■記録を徹底する	－
グリーン購入の推進	■事務用品購入時、エコ商品か否かを記録し、調達率を把握する	○
	■事務用品購入時は、エコ商品を優先的に購入する	○
製品・サービスの環境負荷削減	■「太陽光発電システム設置工事」の推進計画を策定する	○
	■マスメディアを利用し、営業活動を行なう	－
山形エコアクション21	■保全活動に参加する際の、休暇制度を導入する	－
	■地域の保全活動へ、積極的に参加する	△

### 7-2. 次年度の取組内容

この運動に本格的に取組んでからまだ4ヶ月と短期間であることから、来年度も基本的には今年度の取組内容を継続して推進していきます。  
ただし、今年の結果を振り返り、特に達成率の悪かった項目については、具体的な活動内容を追加し、より効果の出る活動を行なっていきたいと思っています。



朝のクリーン作戦の風景  
(平成23年4月より実施)

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社が適用を受ける主な環境関連法規等としては、廃棄物処理法、消防法、悪臭防止法、騒音規制法、振動規制法、高圧ガス保安法、山形県産業廃棄物の処理に関する指導要綱、鶴岡市火災予防条例などが挙げられます。これらの法規等について、2010年12月10日付けで、その遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟等についても一切ありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 9-1. 環境経営システムの有効性の評価

環境問題には以前から取組んでおり、一部使用量を計測していたものもありましたが、今般「エコアクション21」として本格的にシステムとしての取り組みを開始しました。

昨年10月に着手し、12月にキックオフ宣言をして以来、約5ヶ月が経過しましたが、正直、エコアクション21の環境マネジメントシステムの理解度がまだまだ不十分なままスタートしてしまいましたので、どうしても対応が後手に回り積極的な取り組みができないまま過ぎてしまった様に思います。従って、現段階においてはシステムが有効に機能しているとは言い難い状況にあります。

今後、環境管理責任者を中心として、全社員にエコアクション21への取り組みの意義を周知徹底し、前向きに取り組むを進めるようにしていく所存です。

### 9-2. 環境経営システム変更の必要性

現段階では、「環境方針」・「環境目標」・「環境活動計画」等、システムの主要部分については、変更の必要はないと判断しています。

### 9-3. 次年度以降の取組の方向性

今回の見直しは、登録審査を受けるため、2010年12月～2011年3月までの実績に基づき行っておりますが、次回からは、当社の会計年度に合わせ、毎年4月から翌年3月までの1年分の取組結果の取りまとめの結果を受け、毎年5月に実施することになります。

今回は、短期間の取組だったため、今後の取組の方向性についても特に変更はしないこととしました。ただし、4ヶ月間の実績を振り返ってみた場合、実行面に弱さが見られるのでその点に力をいれ取組んでいきたいと思っております。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、下記に御連絡下さい。  
また、当社のホームページ <http://www.s-bankin.com/index.html> でもご覧いただけます。

**株式会社 斎藤板金工業所**

TEL 0235-24-5112 FAX 0235-24-5984

Email [info@s-bankin.sakura.ne.jp](mailto:info@s-bankin.sakura.ne.jp)